



2020年度安全推進活動結果報告について（報告）

1 2020年度 委託作業における災害・事故発生状況

2020年度は、引込支持点作業に従事していた作業者が、梯子ごと地上に墜落する災害が1件発生した。

発生日	委託区分	災害・事故の程度	主な対策
2020.7.7	直営班（委託）	軒上に設置した梯子ごと地面に墜落し骨折（胸椎棘突起骨折）	○梯子の固定や相番者による支持の徹底 ○梯子の取付け角度の徹底

<参考：過去災害の発生状況>

発生日	委託区分	災害・事故の程度	主な対策
2020.01.9	その他	一般工事店による電柱から墜落（重症）	○共同受注契約の遵守 ○適切な柱上安全帯の使用
2019.5.16	直営班（委託）	従事者ランクの未保有者による短絡災害（軽症）	○名簿による従事者ランクの管理徹底 ○作業内容を踏まえた従事者ランクの確実な確認 ○防具の使用不足
2018.6.18	直営班（委託）	高所作業車からの墜落（両足首骨折）	○安全帯や補助ロープの使用 ○高所作業車の取扱いの再確認
2017.7.21	直営班（委託）	短絡事象とPCヒューズ切替に係る強行送電（怪我なし）	○具体的作業手順の確認 ○作業責任者、作業者の任務 ○委託工事範囲の確認 ○緊急連絡先の再確認
2017.7.19	直営班（委託）	異常電圧の印加による計器損傷（軽症）	○接続相の確認 ○指差呼称・自主検査
2017.3.8	直営班（委託）	高所作業車のキャビンから墜落（重症）	○バケット搭乗・降車時の安全帯や補助ロープの使用
2016.6.3	直営班（委託）	高所作業車のブームにトラックが衝突し作業者がバケットから転落（急性頭下血腫）	○作業責任者の常時監視 ○高所作業車の作業範囲には立入禁止措置
2016.4.3	直営班（委託）	高所作業車のアウトリガに挟まれ骨折（左踵骨骨折）	○操作前の安全確認、指差呼称 ○作業者は可動範囲に入らない ○注意喚起シールの貼付

2 2020年度 安全パトロールの実施結果

安全パトロール指摘事項の定量把握								分析・評価
(1) 安全パトロール実施回数								○安全パトロールの実施回数が、一部目標未達であった。2021年度は、引続き新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ったうえで、計画的な実施をお願いする。
	名古屋	静岡	三重	岐阜	長野	東部	合計	
2020年実績【件】	110	77	71	116	108	63	545	
2020年間目標【件】	97	92	74	118	94	101	576	
2019年実績【件】	112	107	62	112	110	73	576	
※安全パトロール実施目標回数は、【直営班の工事店全数×2（2回/年）＋協力工事店ランクA～Cの工事店数10％】として設定（2012年12月 安全技術委員会資料技研）								
(2) 安全パトロール指摘事項の集約結果								○2020年度の安全パトロールの重点項目として設定した項目について、2019年度と比較し指摘件数が半数以下となっていることから、重点項目について高い意識をもって作業にあたっていたと判断する。2021年度も重点項目はさることながら、それ以外の項目についてもパトロール等で指導いただき引き続き安全意識の醸成を図っていただきたい。
指摘項目	チェックNo. (アンダーラインは重点事項を示す)	指摘件数 〔（）：重点事項の指摘件数を再掲〕		主な指摘事項				
		2020年間	(参考) H2019年間					
保護具・防具の使用	23, 39, <u>40</u>	41 (16)	94 (33)	・ゴム手袋の着用前点検不備 ・防具の取付、取外手順の誤り				
作業責任者の指示・監視	49, <u>50</u>	26 (16)	54 (37)	・作業責任者の指示・監視位置が不適切				
安全帯の点検・使用状況	25, <u>26</u> , <u>36</u> , <u>42</u>	16 (15)	40 (37)	・補助フックの取付位置が低い				
梯子の固定・小柱の昇柱方法	32, <u>38</u>	4 (3)	9 (6)	-				
昇降柱動作	<u>29</u> , 33	0 (0)	8 (8)	・安全呼称が不十分 ・検電方法が不適切				
安全帯のD環付近への装着禁止	<u>27</u>	8 (8)	7 (7)	-				
高所作業車の操作方法	<u>59</u> , <u>62</u>	7 (7)	20 (20)	・作業区域の確保不十分 ・輪留めの数が不足				
その他	上記以外	369	344	・作業時の服装が不適切 ・個人情報の取扱いが不適切				
合計	-	471 (65)	576 (148)	-				

3 2020年度 各県・センター（支部）で工夫した取り組みや課題（一例）

教育・訓練関係 安全パトロール関係	<ul style="list-style-type: none"> 直営班工事店における梯子からの墜落災害（2020/7/7発生）の再発防止策である「作業責任者腕章」の使用を明確化し、直営班へNIC統一仕様腕章を支給した。（名古屋） 高所作業車の下を歩行者・自転車通過する際の安全確保に関する指摘事項に対して、具体的な対策を立てるとともに、その内容を共有化するとともに改善を図った（静岡） 日頃共有化している業務事故等の内容が、確実に伝わっていることをパトロールで確認した。また、重要な業務事故については、定例会で詳細に発生事象を報告した。（三重） パトロール終了後、良好事項や指摘事項の共有や意見交換ができる時間を設け、パトロール者と被パトロール者の意思疎通を図り意識向上に努めた。（岐阜） パトロール後に検討会・反省会を実施し、検討した内容について、全センターに対し集約文書で共有化を図った。（長野） 新型コロナウイルスの感染対策を図りながら訓練等を実施した。一部事業場においては、パトロールの代わりに自社チェックによる確認を実施した。（東部）
----------------------	---